

中央市子ども読書活動推進計画

(第二次)

子どもと本が出会えるまち・ちゅうおう



平成24年4月

中央市教育委員会

はじめに

人間は言葉を持ち、その言葉によってものごとを考え、人と心をかよわせてきました。

子どもが言葉を学ぶのは先ず自分を取りまく人々からですが、さらにその言葉を深め高めていくのは読書に他なりません。読書によって子どもは言葉を学び、感動する心をはぐくみ、豊かな想像力を身につけていきます。

「本」には「はじめ」「もと」という意味があります。また、「物事のおこりはじめ・物事を中心」という意味もあります。すなわち、読書は人を育てる「もと」であり、「はじめ」なのです。

中央市では、教育の基本に「まごころ」を掲げ、教育の指針としています。この教育の基本にはさらに、「生きる力をはぐくむ教育」(生)・「命を大切にする教育」(命)・「信頼しあう教育」(信)の三つの柱を設けています。

「まごころ」は誠実で、いつわりのない“こころ”であると同時に、他者をつつむやさしい思いやりの“こころ”でもあります。そして、この「まごころ」を子ども心に根付かせるのは、日々の学習や直接的な体験とともに、読書の力に負うところが大きいと考えます。

中央市では、読書活動の推進にあたり、「まごころ」が子ども心に根をおろすことを願いつつ、中央市のすべての子どもたちが、家庭、地域、学校、市立図書館等で、本とのよい出会いをし、さらに主体的・意欲的に読書活動が展開できるよう、「中央市子ども読書活動推進計画(第二次)」を策定しました。

目次

はじめに

第1章 子ども読書活動推進計画の策定にあたって

1	子どもの読書活動推進の意義	1
2	子どもの読書活動の現状	1
3	計画策定の背景	3
4	第一次計画5か年の成果と課題	3
5	計画策定の基本方針	5
6	計画の期間	6

第2章 子どもの読書活動推進のための方策

1	家庭・地域における子どもの読書活動の推進	6
2	学校における子どもの読書活動の推進	7
3	幼稚園・保育所・児童館等における読書活動の推進	10
4	市立図書館等における読書活動の推進	11
5	推進体制の整備	14

第3章 関連機関との連携・協力

1	行政機関との連携	14
2	市立図書館と学校・幼稚園・保育所・児童館等との連携	15
3	図書館ボランティアとの連携	15

第4章 広報・啓発活動

1	「子ども読書の日」等における広報・啓発	16
2	子どもの読書活動に関する情報の収集・提供	16